

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>レモンの外皮剥離と果汁搾りの研究開発</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>株式会社 いわぎ物産センター</p>
<p>研究の概要</p>	<p>今までに研究開発してきた果実（みかん）の外皮剥離手法の研究成果を応用し、レモンの外皮の剥離方法の研究を行った。</p> <p>レモンは果実だけでなく、外皮も様々な用途で使用されており、付加価値の高い商品として活用されている。現在の皮剥き工程は手作業で行っている。レモンは外皮が厚くて硬い、また、果実と密着しているため30年来様々な手法を企業独自に研究されてきたが、効率よく剥く手法を開発できていない。また、外皮は個々の用途に合わせた外皮の剥き方が必要で、搾る果汁の歩留まりや風味も大きく変わってくる。</p> <p>現在は外皮を人の手で一つ一つ剥いている。高齢化や重労働なため作業を行う労働者が急速に減少しており、今の作業よりもレモンの外皮を効率よく剥くことができれば、工場で量産することが可能となる。</p> <p>レモンの皮を大きな塊として剥く手法について新しい手法を考案し、試作機を設計・制作し実験を行った。レモンの形状や大きさ、皮の厚み、硬さなどがひとつひとつ異なっているため非常に難しい。今後もまだ改良や改善を行っていく必要があるが、今までにない皮を剥くための装置化の方向性を確認することができた。</p> <p>また、果汁搾り用として制作したプレス機は、レモンの種油も搾ることができるようになった。レモンの種油は、まだ市場にない高付加価値な商品で、今後は成分検査や商品化するための活用方法について検討し、商品開発を進めていく。</p>